

若竹保育園

平成 29 年度 5 歳児 つばめ 組															11 月 指 導 計 画															園 長	主 任	担 任
月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 友だちとイメージや意見を出し合い、友だちの良さを受け入れ、繋がりを深めながら遊びや活動を楽しむ。 ◦ 様々な手段で、体を動かして表現することの喜びを味わう。 															基礎的事項	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 感染症予防のため、手洗いやうがいなどを丁寧に行えるよう伝えていく。 ◦ 園外保育では、人数確認を怠らず怪我のないよう安全に十分注意する。 															
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
行事	若戸松小遊交び流	芋戸ほり遊び	文化の日	合同保育	/	遊戸外会遊び	戸外遊び	戸外遊び	戸外遊び	戸外遊び	バザー	/	戸外遊び	戸外遊び	戸外遊び	遠足	絵画指導	合同保育	/	戸外遊び	避難訓練	戸外遊び	勤労感謝の日	身体測定	合同保育	/	戸外遊び	誕生会	戸外遊び	戸外遊び	戸外遊び	
内 容							環 境 構 成							予 想 さ れ る 子 ど も の 姿							配 慮 事 項											
<p>○身近な人や地域の人に進んで挨拶する。</p> <p>○自分の頑張りたいものを決め、話し合いをしながら遊戯や劇の役決め、合奏の楽器決めをする。</p> <p>○文字を覚え、読もうとする。(劇の台本)</p> <p>○役になりきり、表現することを楽しむ。</p> <p>○曲に合わせて歌ったり、体を動かすことを楽しむ。</p> <p>○年上としての自覚を持ちながら、年下の子の世話をしたり、リーダーシップをとるなど進んで役割を果たそうとする。(モノレール遠足)</p> <p>○公共機関を利用し、切符を買ったり乗車中のマナーを理解する。</p> <p>○折り紙を折ったり、好きな素材を選んで貼り、ちとせあめ袋を製作する。</p> <p>○ドングリや松ぼっくりなど秋の自然物に触れ遊びを楽しむ。</p> <p>◎主菜を自分で配膳する。</p>							<p>○日常から挨拶をすることの気持ちよさを伝えていく。</p> <p>○遊戯会でどんなことをするのか、具体的なことがわかるように曲や絵本、楽器などに触れられるようにする。話し合いでは自分の意見を出しやすい雰囲気を作る。</p> <p>○みんなで読み合わせをし、内容を確認できるようにする。</p> <p>○物語の内容を確認できるように、部屋に絵本を置いておく。</p> <p>○十分に踊れる場所を確保する。すぐ曲が流せるようCDとデッキを用意する。</p> <p>○異年齢でグループを分け、交流を楽しめるようにする。</p> <p>○モノレールについて調べられるよう、写真や乗り方を掲示したり絵本を置いておく。</p> <p>○見本を作り、イメージしやすいようにする。</p> <p>○森へ行く機会を作る。自然物でできるおもちゃ(船やマラカスなど)を作り、子どもたちが興味を持てるようにする。</p> <p>◎盛り付けの目安がわかるよう、一つ見本を作っておく。</p>							<p>○言葉で伝えあう大切さがわかり、会話を楽しむ。【①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿】</p> <p>○興味のある歌を口ずさんだり、劇の内容を理解し自分のなりたい役を想像したりする。自分の頑張りたいものを発表する。【㉑㉒㉓】</p> <p>○文字が読めない子もいるが、周りに合わせて読もうとし、覚えようとする。【㉔㉕㉖㉗】</p> <p>○遊びの中でも、劇ごっこをしたり覚えたセリフを言い、役になりきって楽しむ。【㉘㉙】</p> <p>○気の合う友達と踊ったり、手話で歌ったりする。【㉚㉛㉜㉝】</p> <p>○見たい動物を挙げたり、回る順番を提案したり年下の子の意見も聞こうとする。【㉞㉟㊱】</p> <p>○乗車にかかる賃金を調べたり、乗車中のマナーを守ろうとする。【㊲㊳㊴】</p> <p>○見本を見たり、友達同士で教え合ったりしながら、自分の好きな飾り付けをして製作を楽しむ。【㊵㊶】</p> <p>○ドングリや松ぼっくりをままごとに取り入れたり、ドングリの船やマラカスなどに興味を持ち楽しむ。【㊷㊸㊹】</p> <p>◎見本を見ながら、自分の食べられる量に調節したりして配膳をする。【㊺】</p>							<p>○言葉で伝え合う姿を見守る。必要に応じて仲立ちをし、楽しさを伝える。</p> <p>○なりたいものが重なり、譲ってくれた子には他でなりたいものを優先的に決められるようにし、平等に話し合いを進めていくようにする。</p> <p>○読み合わせをする中で興味がなかったり、文字がわからない子には個別に対応する。</p> <p>○子どもたちと一緒に楽しみ、その中でも手本となれる表現を心掛ける。</p> <p>○子どもたちの踊りやすい振り付けを考え、見本となって踊れるようにする。</p> <p>○子どもたちがグループをまとめていけるよう見守りながら、場合に応じて声掛けや提案をしていく。</p> <p>○一般の人の迷惑にならないよう場所を配慮しながら子どもたちを誘導し、活動ができるようにする。</p> <p>○七五三の文字を見て書くのが難しい子は、鉛筆で下書きをするなど個別に対応する。</p> <p>○子どもたちの発想を大切に、遊びが発展していくようにする。</p> <p>◎自分で配膳するものが増えるため、余裕をもって準備ができるように配慮する。</p>											
※「◎」は食育																																
家族との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 体調を崩したり、風邪が流行る時期なので、家庭での体調管理などを登降園時に確認する。 ◦ 遊戯会の詳細や子どもたちの練習でのエピソードなどを伝えていく。 						個別的配慮							小学校・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 若松小学校を訪問し、小学生と交流を深める。 ◦ 地域の方の畑に行き、芋ほりを体験する。 						反省	<p>若松小学校を訪問したり、芋ほりに行くなど地域との交流が多い月だった。小学校ではドングリを拾い、もらったが園で活用する機会を持てなかったため、来月に時間を見つけて行いたいと思う。遊戯会にむけての話し合いでは、さまざまな決め事があったが、他の子の気持ちを考えられるようになり自分の思いを話しつつも他で譲ったりなど、折り合いをつけていける子が多かった。</p>										

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 ア. 健康な心と体 イ. 自立心 ウ. 協同性 エ. 道徳性・基本意識の芽生え オ. 社会生活との関わり カ. 思考力の芽生え
 キ. 自然との関わり ク. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ. 言葉による伝えあい コ. 豊かな感性と表現